

『産学連携 ヘッドレスト付きハイバック座椅子』 取扱説明書

この度は当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全にご使用いただくため、この「取扱説明書」と裏面の「使用上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この「取扱説明書」「使用上のご注意」は必ず保管し、必要なときにお読みください。

＜ヘッドレスト部、背もたれ部の角度調節方法＞ ※下図をご参照ください。

- ・ヘッドレスト部は手動で前後無段階に調節できますが、背もたれ部のようにロックはしません。また、調節するとき音はしません。ヘッドレスト部に力が加わると角度が変わります。(図2参照)
- ・背もたれ部は96度から178度の位置でギヤが2度ピッチでロックし、角度を調節できます。
【角度を上げる場合】背もたれを垂直の方向へ順に動かし、角度調節します。(図3参照)
※角度を上げている途中で、その位置より下の角度へ動かすことはできません。
【角度を下げる場合】背もたれの角度を解除の位置まで上げた後、使用したい位置の近くまで角度を下げ、そこから再度角度を上げてギヤをロックしてください。

※背もたれを調節する際は、左右のギヤがロックする“カチツ”という音を確認してください。

※背もたれのギヤは左右2ヶ所にあります。同じ角度でロックしていることを確認してからご使用ください。

図1 全体図

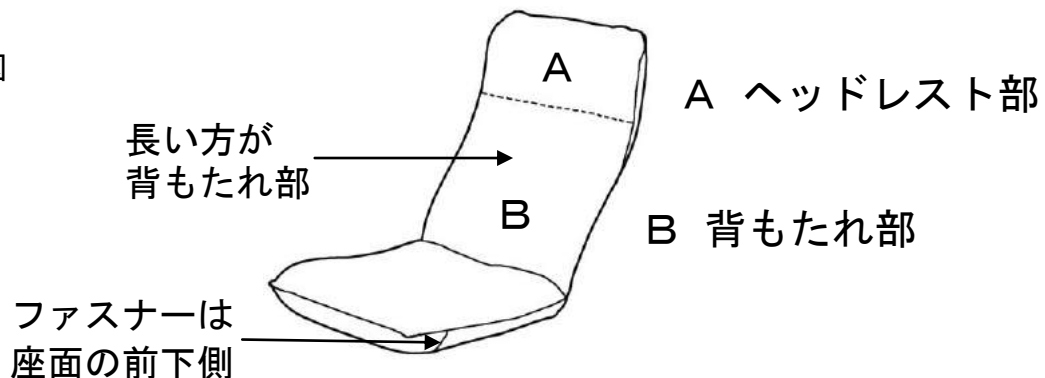


図2 A ヘッドレスト部の調節

手動で前後に無段階調節(音はしません)
(ロックはせず、頭で強く押すと後方に動く構造)

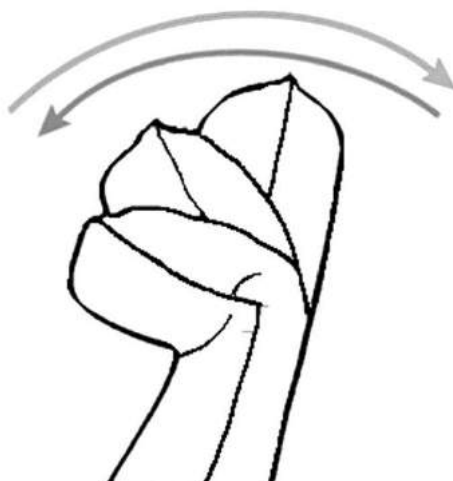
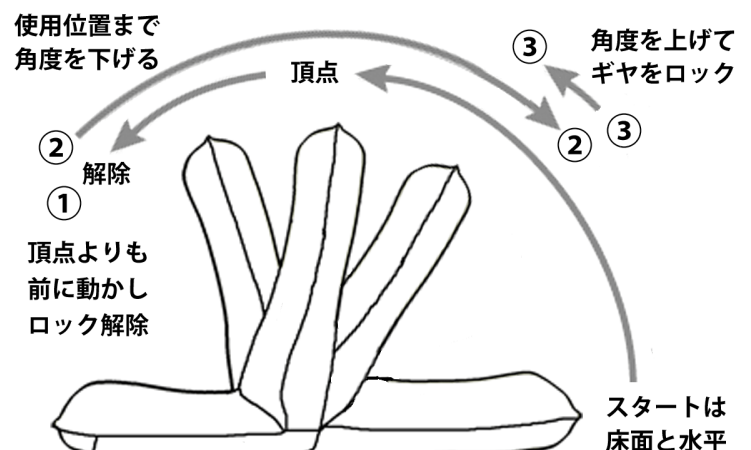


図3 B 背もたれ部の調節

手動で41段階調節
(一度水平に戻さなくても角度調節可能)

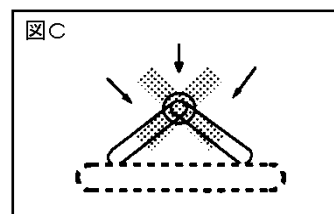
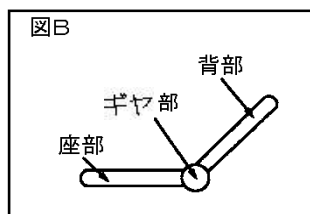
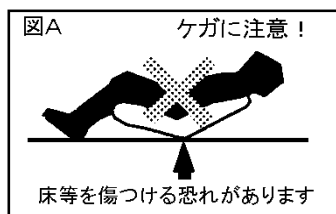


※ご使用前にお読みください。

商品開封の際、使用していますウレタンフォーム、接着剤により、においを感じる場合があります。においが気になる場合は室内を十分に換気してください。
また、商品を風通しの良いところで陰干ししていただくと、徐々ににおいは弱くなります。

<使用上のご注意>

- ・側地カバーは洗濯できません。ファスナーは製造都合のものなので開けないでください。
- ・側地カバーが片寄ったときには、座椅子を平らな状態にして、側地カバーを整えてください。
- ・座椅子の目的以外に使用しないでください。また、座面以外の部分に座るのは絶対におやめください。
- ・座椅子の座面、背の各部には絶対に立ち上がらないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
- ・座椅子の上に乗ったり、飛び跳ねたりしないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
- ・図Aのように座椅子の背もたれを後方に傾けるような座り方はお避けください。転倒や破損の原因になります。
- ・同時に二人以上で使用しないでください。
- ・座椅子の背もたれに強い衝撃をかけたり、図Aの状態にしてシーソーのように使用したりしないでください。転倒したり、床面を傷つけたり、ケガや器具の破損の原因になります。
- ・乳幼児の一人での使用や、仮寝のベッドがわりの使用はお避けください。窒息やケガの原因になります。
- ・床面の平らなところで水平になるように使用してください。ガタツキ、転倒、変形の防止になります。
- ・高温多湿のところでのご使用はお避けください。カビやダニの発生の原因になります。
- ・直射日光の当たるところや、冷暖房機器の吹き出し風の当たるところ、器具の近くでのご使用はお避けください。変色、劣化の原因になります。
- ・床面がフローリングや畳で使用する場合、ジュタンやカーペット等の敷物を敷いてください。床面や畳のキズ防止になります。
- ・素肌や衣服が濡れた状態でのご使用はお避けください。側地カバーのシミ、汚れや劣化の原因になります。
- ・ギヤでリクライニングする部分には手や足を入れたり、立ったり座ったりしないでください。ケガをするおそれがあります。(図B参照)
- ・図Cの状態、矢印の方向に荷重をかけないでください。破損の原因になります。



<お手入れ方法>

著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や漂白剤、化学雑巾などは使用しないでください。側地カバーの変色や色落ち、劣化の原因になります。なお、本体に最初からかぶせてある側地カバーを取り外して洗濯しないでください。破損の原因になります。

【品質表示】

外形寸法	幅510mm×奥行710(710～1200)mm×高さ700mm(座面高110mm)
構造部材	金属(鋼)
張り材	ポリエステル100%
クッション材	ウレタンフォーム
原産国	日本

当社の製品は品質検査を経て製作しておりますが、万が一不具合等ございましたら
お買い求めになった販売店までご連絡をお願いいたします。

製造元 株式会社ヤマザキ

〒350-0276 埼玉県坂戸市戸口439-1

*裏面も必ずお読みください。

各部リクライニング操作方法の補足

各リクライニング部の操作ができないときは、該当部の図を参照しながら操作してください。

【ヘッドレスト部リクライニングの操作方法】（画像は操作イメージです。）

使用しているギヤの構造上、ヘッドレスト部は最初リクライニング時に抵抗が大きく、調節しにくい場合があります。

そのような場合には、下図を参照しながら、リクライニング操作をしてください。

何度か操作するとヘッドレスト部のギヤを動かしやすくなります。なお、ヘッドレスト部を操作するとき、音はしません。

- ①お届けした商品は折りたたんだ状態です。
ご注意! 画像はイメージです。



図1

- ②座面を両膝で押さえて、背もたれの上の部分を両手で持ち、全体を手前に引くように操作して背部のギヤを解除します。

上から押さない
背もたれ全体を
手前に引くように
操作する



図2

- ③背部のギヤをカチッと音がするスタートの位置まで戻します。
戻したあとにヘッドレスト部のリクライニング操作をします。

パイプフレーム部分を
上から押さないように
パイプフレーム部分の
前方向に手のひらの
下側をあてる

腕をしっかり伸ばす



図3

- ④ヘッドレスト部を元に戻します。

パイプフレーム部分の前方向に手のひらの下側をあて、腕を伸ばし、前から体重をかけて押しイメージで操作



図4

- ⑤座面を両膝で押さえて、背もたれをリクライニングします。
このとき膝がパイプやギヤに当たらないようご注意ください。



図5

図6

- ⑥背もたれの上の部分を両手で持ち、手前に引きつけたあと、ヘッドレスト部を押しリクライニングします。



図2へ戻る

図7

図8

この操作を何度か行くと、ヘッドレスト部リクライニング時の抵抗が減り、動かしやすくなります。

【背もたれリクライニングの操作方法】(画像は操作イメージです。)

①お届けした座椅子は水平にできます。

カチッと音のする位置でギヤが止まります。



左右のギヤ両方から音がします。

②左右のギヤが同時に動くように操作してください。

背の中央を操作すると左右ギヤが均等に動きます。



片方だけがロックした状態で使用すると故障の原因になります。

* 角度を下げるときは下図をご参照ください。

③解除の位置までしっかりと押してください。

ストッパー機能がありますから、止まるまで前に押してください。



解除位置まで前に押したあと、水平の方向に戻ります。

④使いたい角度まで背もたれを戻します。

使いたい角度の少し下の角度に戻してください。



スムーズに操作しないと、戻す途中でロックする場合があります。

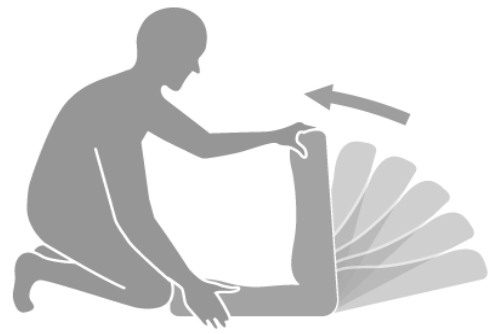
⑤背もたれを少し上げてロックします。

ロックする音を確認しながらゆっくりと操作してください。



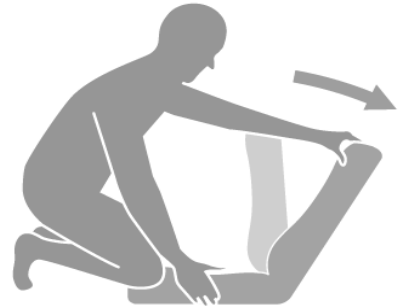
もう一度角度を変えるときには③に戻って操作してください。

操作方法



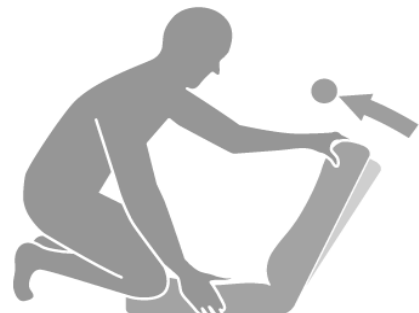
1 解除

背もたれを手前に倒してロックを解除します。



2 フリー

背もたれをお好みの角度にあわせませす。



3 ロック

背もたれを少し引いてロックさせます。